

## 令和6年度 第3・4・5回 合同番組審議会 議事録

### 1 開催年月日

令和7年3月13日（木） 午後1時30分～午後2時30分ごろ

### 2 開催場所

砺波市太郎丸2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

### 3 委員の出席

委員総数 6名

出席委員数 6名

出席委員の氏名（◎委員長 \*欠席）

◎ 山本 仁史 71歳、男、砺波市文化協会長

杉野 秀樹 66歳、男、砺波市美術館長

山田 智恵子 61歳、女、南砺市商工会女性部長  
有限会社山田文華堂取締役

佐藤 丈寛 42歳、男、砺波商工会議所青年部会長  
佐藤鉄工所

久保田 晃克 47歳、男、リアル・プランニング株式会社代表取締役

長田 政哉 38歳、男、となみ青年会議所理事長  
株式会社長田組専務取締役

#### 放送事業者側出席者名

河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)

古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)

高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

### 4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

## 5 議題

### 1. 放送番組に対する評価

#### 《対象番組》

- ・「ラジオエッセイ こころの世界」(2024年12月26日(木)放送)

元教員で南砺市井波・妙蓮寺住職の竹部俊恵さんが、日々の気づきや心に響いたことを語る15分番組。2024年最後の回は、“年賀状終い”への思いを語った。  
パーソナリティ：竹部俊恵(市民パーソナリティ)

- ・「ブラぶら Ban バン！」(2025年1月15日(水)放送)

砺波地域の吹奏楽団や小・中・高校の吹奏楽部の活動を紹介しながら、吹奏楽の魅力たっぷりにお送りする30分番組。今回は冬の吹奏楽部の活動や、楽器の扱いについての思い出を、1月にまつわる曲とともに紹介した。

パーソナリティ：藤森みえ子

レギュラーゲスト：富山県学校吹奏楽連盟副理事長・中藪睦さん  
林商店(地域の吹奏楽指導者)・林紀孝さん

- ・「砺波図書館 BOOK ナビ」(2025年2月20日放送)

お昼の生放送『HAPPY SHOWER』のゲストコーナーで、毎月第3木曜に砺波図書館からの情報を紹介している。今回は、図書館で行われるボードゲームイベントや、おすすめの図書を紹介する企画展示について話を聞いた。

パーソナリティ：中島有希永

レギュラーゲスト：砺波図書館・雄川環さん

### 2. 番組編成に対するアドバイス

### 3. その他

## 6 審議内容(各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

### 【杉野副委員長】

- ・「ラジオエッセイ こころの世界」について

元教員で住職ということで、落ち着いた語り聞きやすかった。今年は年賀状をずいぶん減らしたが、この番組を先に聞いていたら減らさなかったかもしれない。12月初旬、みんなが年賀状を準備する時期の放送ならなおよかった。

メールではなく、生きている人が書いて投函するという行為を愛おしく感じられる内容だった。

- ・「ブラぶら Ban バン！」について

ゲストの男性ふたりが、どちらなのか分かりにくかった。進行役が工夫して分かりやすくしてほしい。吹奏楽アレンジされたクラシックの名曲が紹介されたが、吹奏楽ならではの特徵

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

や、聞き所をもう少し詳しく紹介してほしい。吹奏楽に詳しくないので、ちょっと置いてけぼりにされた感があった。パーソナリティが進行していないのでは。

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

ボードゲームという、図書館の本業ではないところが紹介されていて、昔とイメージが変わってきたなと感じた。図書館のHPを見たところ、ボードゲームのリストが掲載されていた。そういった情報も紹介してもよかったか。ボードゲームの音などを聞かせるとより臨場感があるかもしれない。

【山田委員】

・「ラジオエッセイ こころの世界」について

年賀状というピンポイントの情報で興味を引く話題だった。15分という長さもちょうど聞きやすかった。

・「ブラぶら Ban バン！」について

ゲストの経歴など、もう少し紹介があってもよかったか。初めて聞く人に対する配慮もあればよいと感じた。クラシック曲の吹奏楽アレンジが紹介されていたが、知っている曲だったので聞きやすかった。吹奏楽アレンジのポイントなども紹介してはどうか。

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

ボードゲームについて分かりやすく紹介していて、パーソナリティの話の引き出し方もよかった。図書館のかたいイメージではなく、行ってみたいなど感じる内容になっていた。

・番組編成について

各地のイベント会場からの生中継番組を検討してほしい。

【長田委員】

・「ラジオエッセイ こころの世界」について

題材は季節をとらえていて良かった。共感を得やすい内容で、個人の考えだけでなく、著名人の手紙に対する意見も紹介されていてよかった。15分という時間も、長すぎずちょうど良いと思った。

・「ブラぶら Ban バン！」について

誰が何をしゃべっているのかが、初めて聞く人には分かりにくいように感じた。吹奏楽を紹介するというのは良いと思うが、トークの分量がもう少し多くてもいいかもしれない。時間配分が難しいなと感じた。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

明るくていいコーナーだなと感じた。ボードゲームを言葉で紹介するのは難しいなと感じたが、一生懸命分かりやすく紹介しているところも良かった。

図書館というのは公共の施設なのだから、そもそもPRする施設ではないのではと思っていたが、いろいろなことに取り組んでいて、PRすることは大切だなと感じた。こういった時間を取れるのがコミュニティエフエムの役割ではないかと思う。

【久保田委員】

・「ラジオエッセイ こころの世界」について

手紙にしかない良さを細かく紹介していて、改めて実感した。BGMがもう少し明るいトーンのものでよいのではないか。

・「ブラぶら Ban バン！」について

パーソナリティの役割とは？ゲストが進行役になっていると感じた。曲が長く感じた。もう少し楽曲解説があってもよいのではないか。

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

話の展開、引き出し方、すごく聞きやすかった。知らないボードゲームや富山ゆかりのボードゲームも紹介されて、図書館に行ってみたいなと感じた。ワクワク感が感じられた。

盛りだくさんの内容だったので、途中でちょっとブレイク的な感じがあってもいいかもしれない。

【佐藤委員】

・「ラジオエッセイ こころの世界」について

デザインにこだわる年賀状が多いが、手書きの良さを再認識させられた。自分の言葉で書くよさ、年賀状をやめてしまったので、そういう機会を失ってしまったなと感じた。

・「ブラぶら Ban バン！」について

吹奏楽曲の背景、クラシック曲を吹奏楽にアレンジした時の楽しみ方などをもっと紹介してほしい。

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

新しい図書館にはまだ行ったことがない。ボードゲームの話聞いて、楽しめそうで、行ってみたいなと思った。

【山本委員長】

・「ラジオエッセイ こころの世界」について

手紙が主流だったころには、それが当たり前で評価は高くなかったが、SNSの時代だからこそ

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

評価されるのだと思う。

手紙が届いた時を想像してみると、それが何かの返礼だったとしてもインパクトは大きく感謝の気持ちを感じる。SNS の時代だからこそ好感を持たれるのかもしれない。

竹部さんの考え方が染み渡った番組だった。

婚活イベントでラブレターの書き方を取り上げてもよいのでは。

・「ブラぶら Ban バン！」について

音楽番組の難しさを感じた。曲をかけてトークを入れればよいというものでもなく、30 分というスケールでは、起承転結、ストーリーが必要なのだなと感じた。次回に期待させる仕掛けもあればよいと思う。

・「砺波図書館 BOOK ナビ」について

ボードゲームを言葉で伝えるのは難しいので、実際に遊んでいる子供の声などを入れて、臨場感を出してもいいかもしれない。

図書館という場は、本来の機能だけでなく、人が集う場所が変わってきている。砺波市の新しい図書館を作るときから関わっているが、人の往来があり、行きやすい場所でない、周辺の発展に寄与しない。図書館を中心に、周辺が発展していくようにもっと PR してほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・出演者が複数人の場合、発言者が分かるよう工夫することとした（令和 7 年 3 月 27 日）

- ・「ブラぶら Ban バン！」

- 分かりやすい楽曲解説を検討することとした（令和 7 年 3 月 27 日）

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和 7 年 3 月 14 日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FM となみの HP 上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------